

事業所名		おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマートぎのぞそん				公表日	令和8年2月28日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	物の配置をコンパクトにしている		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	配置数が適切であることにより、より細やかな支援につながっている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	車椅子の児童がいるため、トイレに手すりの配置を行っている。また、活動の障害にならないよう、机や椅子の配置を工夫している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	活動別のエリアに分かれているため、それぞれの活動に集中できる。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	子どもの状態、状況によりパーテーション等を用いて子どもが落ち着いて過ごせる空間を作っている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	0	利用者受入前と送迎後の毎日の申し送りと振り返りで情報共有を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	評価表受け取り後に職員間で会議を設け、改善点について話し合っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	朝夕のミーティング時に、振り返りながら改善点について話し合っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	0	現在、第三者による外部評価を行っていないが、必要に応じて外部評価を行い、業務改善につなげられるよう対応していく。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	定期的な事業所内研修、法人開催の研修に参加している。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0	常に職員間で情報教諭をし、子どもの発達段階に合わせて作成している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	課題に対してはその都度話し合いを行い、調整している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0	全職員で子どもたちの日々の様子を共有し、課題に対して最善の支援ができるよう検討している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	計画は毎日職員へ共有されており、計画に沿った支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	連絡帳や支援を通して、保護者様及び職員へ細かい情報共有を行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	定期的なアセスメントを行う中で、本人や保護者のニーズに合わせた支援内容をあげ、具体的支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	毎月活動会議を設け、立案し子どもの心と体の発達を考えながら、全員が参加できるよう工夫している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	個々の特性や状況に応じ、子どもたちが興味を持ち、楽しみながら参加できるよう工夫している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	一日の活動のなかで、個別活動の時間と集団活動の時間を設けている。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	支援開始前に必ずミーティングを行い、各自の役割を確認している。		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	支援終了後に必ずミーティングを行い、振り返りのなかで、子どもたちの様子を情報共有をしている。		

	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	毎利用時に支援内容を確認し、改善につなげるために、支援に関する記録をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	定期的にモニタリングを実施し、こどもの支援記録にも目を通し適切な支援計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4	0	ガイドラインに沿った内容で、意識して支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	活動のなかで選択肢を与え、日々自己決定の場を設けている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	児童発達支援管理責任者が参加している。	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	保健、医療については、保護者様を通じて連携、障害福祉、教育関係については、保護	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	学校お便り、送迎時に担任の先生と情報交換を行い、連絡調整等を適切に行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	0	4	就学前に利用していた事業所等との直接の情報許は行っていない。今後、必要に応じて検討、実施していく。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	4	該当者はいないが、支援内容等の情報を提供できるような体制を整える。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4	今後、必要に応じて検討する。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0	4	今後、感染症予防、こどもたちの状況に応じて検討していく。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	0	可能な限り参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	毎利用時、連絡帳での様子の記入を行い、送迎時等に都度の活動の様子や好況をお伝えし、情報共有を行っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	保護者より日々の家庭での様子を確認し、困り感対応方法に適宜提案を行っている。	
	保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0	契約時に契約書と重要事項説明書の内容について説明し、保護者に疑問点や質問等がある場合、その場で応えている。
37		放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0	本人や保護者のニーズを聞き出し、それに基づいた支援を考えている。また、面談時に新たなニーズがあれば都度合う支援を考えている。	
38		「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0	面談時に支援の内容を説明し、保護者の同意を得ている。	
39		家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	送迎時、電話、面談等にて相談内容について支援方法や提案を行っている。	
40		父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	4	父母の会や兄弟同士の交流する機会がないため、今後保護者や児童の意向を確認し検討していく。	
41		こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情の申し入れがあった場合、職員間共有、話し合いのもと迅速に対応している。	
42		定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	月初めにお便りを発行し、日々の活動を知らせている。変更がある場合は、子ども、保護者へ連絡等を行い対応している。	
43		個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0	個人情報に記載された書類は、鍵付きの書庫へ保管し、十分に留意している。	
44		障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0	状態に応じて、視覚支援を用いて情報の伝達を行ったり、意思疎通ができるよう努めている。	
45		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	4	現在、地域住民を招待する行事は行ってないが、必要に応じて今後検討していく。	
	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0	前回の改善点で挙げられた訓練前後の連絡、報告を保護者に公文を通して行った。	

非常時等の対応	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0	年3回訓練を実施し、実際に災害が発生した際も、迅速に対応できるよう努めている。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0	服薬が必要な子どもについては、保護者より状況を共有していただき、職員間で共有している。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0	利用開始時や契約時に保護者へアレルギーについて確認を行い、おやつ提供時にもアレルギー物質の有無を確認し、共有を行っている。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	0	安全計画に基づいた研修や訓練を行っている。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0	子どもの安全確保に関する活動での学びを口頭や連絡帳、お便りでお伝えしている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	0	事案が起こった場合は、ヒヤリハットを作成し、原因と予防策を職員間で話し合い、周知に努めている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0	事業所内で定期的に研修を行っている。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0	契約時、保護者へ説明している。